

かがやく三和っ子

令和4年3月10日

〒720-1522 広島県神石郡神石高原町小島 1370番地
 TEL 0847-85-2816 FAX 0847-85-2601
 URL <http://www.jinsekigun.jp/school/sanwasho/>

令和3年度「本物体験事業」

神石高原町内の歴史や文化、特産品等について実際に見学したり体験したりすることで郷土に親しみや誇りをもたせるねらいで、令和3年度「本物体験事業」を行いました。

1・2年生は、生活科の学習「まちたんけん」「あきみつけ」等で、「神石高原町ティアガルテン」に行き、自然や生き物とのふれあいを楽しんだりすることで、神石高原町のよさにふれることができました。

3年生は、総合的な学習の時間で、神石高原町特産品の「こんにやく」について学習をしました。学習を通して、神石のこんにやくを広めたいという思いをもち、商品パッケージを考えたり、チラシやポスターを作成したりしました。

4年生は、社会科の学習で、「クリーンセンター」の見学をしたり、「神石高原町ティアガルテン」で伝統工芸「備前焼」の陶芸体験をしたりしました。

5年生は、総合的な学習の時間で、「スコラ高原」「帝釈峡」等の町内の史跡や観光地を見学し、「神石高原町ガイドブック」を作成しました。

6年生は、総合的な学習の時間で、「神石牛」について学習しました。コロナの関係で、予定していた畜産農家の見学ができませんでしたが、ゲストティーチャーを招いて、神石牛の歴史や農家の方の苦労や工夫等についてお話を聞かせていただきました。

【いじめ、体罰、セクシャル・ハラスメント相談窓口】についてお知らせ

三和小学校では【いじめ、体罰、セクシャル・ハラスメント相談窓口】を教頭、保健主事の劔持養護教諭としています。相談がありましたら、いつでも遠慮なくご相談ください。(三和小学校 TEL85-2816)

その他の関係機関でも、相談を受け付けています。

- 神石高原町教育委員会 TEL0847-89-3341
- 広島県教育委員会事務局 TEL 082-513-4917
- 広島県立教育センター TEL082-427-3076
- 082-513-4918
- 24時間子供SOSダイヤル TEL0120-0-78310
- 082-513-4919

4月の行事予定

4月6日(水)	就任式, 始業式
4月7日(木)	入学式
4月8日(金)	PTA新旧役員会
4月15日(金)	授業参観, PTA全体会, 学級PTA
4月20日~	家庭訪問
4月28日(木)	歓迎遠足

1年間ありがとうございました

今年度も1年が終わろうとしています。保護者の皆様・地域の皆様、本校教育活動に対して御理解・御協力いただき、ありがとうございました。来年度もよろしくお願いたします。

学校評価結果

三和小学校では、教育目標「自ら学び 自ら考え 協働できる 心豊かな子供の育成」の達成に向けて、短期経営目標や評価項目を立てて取組を進めています。年度末の目標達成状況と改善策を次のようにまとめました。今後も更なる向上を目指します。

	短期経営目標	目標達成のための手だて	評価項目・評価指標	経営目標の達成状況と改善策
確かな学力	1 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る。	○学習でねらう目標に沿って、児童の学習のつまずき・要因分析をし、手立てを講じた授業づくりに取り組む。 ○個別支援や授業における複数指導、放課後の学力補充を計画的に行う。	○国語、算数、理科の単元末、学期末テストの知識・技能において低学年では75%未満の児童数0人、中学年では60%未満の児童0人、高学年では40%未満の児童0人を目指す。 ○標準学力調査の国語と算数において校内平均が全国平均を3ポイント上回る。 ○標準学力調査の国語と算数の基礎正答率において全国平均との差を前年度より5ポイント以上縮める。	・児童の学習のつまずき・要因分析をもとに手立てを講じた授業づくりを行ったことで、国語科、算数科、理科の単元末、学期末テストの知識・技能において低学年では75%未満の児童数0人、中学年では60%未満の児童数0人、高学年では40%未満の児童数0人だった。 ・標準学力調査において、国語科は4.5ポイント、算数科は6.7ポイント、理科は4.9ポイント全国平均を上回った。 ・基礎正答率について、国語科では5学年中4学年で全国平均との差を前年度より縮められた。さらに5ポイント以上縮められた学年は3学年であった。算数科では全学年で全国平均との差を前年度より縮められた。さらに5ポイント以上縮められた学年は2学年であった。課題のあった内容については復習を行い、確実に定着できるようにしていく。
	2 課題を見つけ主体的に取り組もうとする力を育てる。	○児童にとって学びたくなるような意味のある学習にする工夫をし、児童の学ぶ意欲を促す。	○アンケートの主体的な学びの意欲や実現力に関わる項目において肯定的に答える児童の割合が80%を超える。	・総合的な学習の時間や生活科の時間に、探究的な学習の在り方について、研究してきたことを活かして授業改善したことにより、アンケートの主体的な学びの意欲や実現力に関わる項目において肯定的に答える児童の割合は86.2%だった。9月時点で課題であった「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由を考えている」の項目が特に伸びていた。 ・今後も、児童が課題を設定し、解決していく探求的な学習につなげられるよう、次年度も見通しながら、授業づくりをどの学年でも計画的に行う。
豊かな心	3 主体的な行動を通して自己肯定感を育てる。	○委員会活動や係・当番活動等の日々の学校生活を通して、自分・学級・学校・地域をよりよくするために、自ら取り組める環境を作り、主体的な行動を促す。 ○挨拶や優しい言葉遣い、協力する体験等を通して、児童相互に尊重し合える関係づくりをする。	○以下の質問に対して肯定的に答える児童の割合が80%を超える。 ・自分の決めた目標に向かって努力できた。 ・周りの人のために、自分で考えて行動することができた。 ・気持ちのよい挨拶や言葉遣いができ、みんなもしてくれている。 ・友達が頑張っていたり、困っていたりした時に協力することができた。 ・友達が頑張っていたり、困っていたりした時に協力することができた。	2月末での肯定的評価の割合は、 ・「自分の決めた目標に向かって努力できた。」は、約98% ・「周りの人のために、自分で考えて行動することができた。」は、約86% ・「気持ちのよい挨拶や言葉遣いができ、みんなもしてくれている。」は、約84% 「友達が頑張っていたり、困っていたりした時に協力することができた。」は、約86%であった。 以上のことから、全項目を80%以上にするという目標は達成することができた。今後も、日々の掃除や委員会活動、学校行事等においても、児童が自分で考え、判断したり、友達と協力できたりすることに意識して取り組み、その過程を振り返らせることにより、自己肯定感の醸成に努めていきたい。また児童会を中心とした「挨拶名人」の取り組みも継続して行うことで、「自分から、相手に聞こえる声で、立ち止まって、相手の目を見て」挨拶ができる児童を増やしていきたい。
信頼される学校	4 学校から児童の様子や取組を積極的に発信する。	○学校便りや学校のホームページを通して、学校での取組みや児童の様子を積極的に発信する。 ○学級通信を通して学級の児童の様子を保護者に知らせ、保護者との連携を深める。	○月に一度の割合で学校だよりを発行する。また、「ホームページ運営計画」に基づいてホームページの更新をする。 ○週に1度を目安に学級通信を発行する。	・月に一度の割合で「学校だより」を発行したり、ホームページでも学校だよりを中心に児童の様子を発信したりすることができた。その他、本年度研究の指定を受けている探究的な学習の在り方に関する1年間の取組内容についても更新することができ、学校の取組を知って頂くことにつなげることができた。 ・学級通信の発行は平均週1.4回だった。いろいろな教科での児童の様子や家庭学習でのがんばりなどを写真や児童のノートを載せ、分かりやすく紹介することができた。また、1・2学期から成長してつけた力や学年のまとめに向けてがんばらせたいこと、家庭の協力を得たいこと等を積極的に発信することで保護者との連携を深めることができた。